2019 年度　ＦＤ活動報告

経済学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

経済学研究科において、継続的に大学院生の目線に立って経済学研究科の教育活動における様々な問題点を議論し、その改善に向けての活動を行った。各委員会は対応案をいつも経済学研究科教授会にフィードバックしていると同時に、お互いに連携プレーをしながら問題の改善に取り組んだ。また、教授会においては、全学が企画する FD 会議等の紹介を行い、教員の参加を促していると同時に、独自に FD 関連の講演会等を積極的に企画した。

２　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2019.11. 28	ハラスメント講習会	講習会	27
2019.12. 5	知財説明会	講習会	30

３　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
経済学研究科委員会	研究科全体の FD 活動を企画、実施	11	8

４　ＦＤ活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー･委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	30　人　／　30　人中

５　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	10	0	ピア授業参観は通年で、教授会等で教員の参加を促している。
後期	7	0	
年度合計	17	0	

６　その他取り組みの具体的実施状況

(1) 4 月初めに、経済学研究科は、なかもずキャンパスとサテライト教室の新大学院生向けのオリエンテーションをそれぞれ実施した。さらに、経済系の新 M1 院生のみを対象とするオリエンテーションを実施し、ガイダンス・ファシリテーター（GF）制度、年度の活動計画、そして要注意事項をきちんと説明した。

(2) 2018 年度末に経済系教員集会で合意した GF の活動計画に基づいて、2019 年度に GF 活動をきちんと遂行した。4 月に経済系における全教員と M1 院生が集まり、お互いに自己紹介した。5 月に経済系の各教員がガイダンスをした。6 月～7 月に経済系の M1 院生は経済系教員の研究室を訪問し、アドバイスやコメントをいただきながら研究計画を作成した。8 月に M1 院生側の配属希望と教員側の受入希望に応じて 2 人の GF 担当者が作成した経済系の M1 院生の指導教員への仮配属案が経済系教員集会で審議され、仮決

定された。9 月にこの仮配属案が研究科委員会の審議を経て教授会に諮られた。そして、教授会で審議・承認された。また、教務はこの決議結果を経済系の M1 院生に速やかに連絡した。

(3) 6 月と 11 月に岡山商科大学で入試説明会を行った。

(4) 9 月にサテライト教室の入試説明会が行われた。また、来場者に対してアンケートを実施した。その結果を暦年のデータと比較しながら今後のさらなる改善を図った。

(5) 10 月にプレップ制度を利用して入学した研究生を対象に、GF の担当者と関連教職員がオリエンテーションを実施した。

(6) 修了論文の中間発表会を実施し、教員と大学院生が積極的に参加した。また、その場を利用して M2 院生向けの修了アンケートを実施し、次年度のさらなる改善を目指す。

(7) サテライト教室において昨年度実施した授業アンケート結果を分析し、今後の教育活動の改善に役立てた。なお、本年度も授業アンケートを実施済であり、次年度のさらなる改善を目指す。

(8) 経済学検定試験（ERE）の入試制度の変更に伴って、そのスコアの換算方法が研究科委員会を経て、教授会で審議され、改正された。

(9) 知的財産権の視点から M2 院生の修了論文の閲覧と保存に関して継続的にきちんと議論した。

(10) 4 月、7 月、9 月、12 月に博士後期課程・博士前期課程院生の合同ゼミナール等を利用して、教員間で各院生の学修状況の確認および院生への指導に関する情報交換・意見交換を行った。これにより、各院生に必要なフォローアップについて認識と方針を共有し、各教員の授業および演習（論文指導）に適切に反映できるよう努めている。

(11) 2020 年 1 月末に、中国における新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてどうしても日本に戻れなかった修了予定者に不利益を与えないように、Skype を利用して最終試験を受験させ、対応した。

(12) 年度を通じて、論文演習後の時間を割いて、教員間で効果的な教育方法を議論し、修士論文作成に向けての効果的な教育内容を論文演習に取り組んだ。

(13) 2020 年 3 月に、2020 年度の GF 活動計画が経済系教員集会で審議され、決定された。

(14) 2020 年 3 月に、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、経済学研究科の学位授与式の在り方、そして来年度のオリエンテーションの在り方に関して議論し、対応した。